

学校給食に関する調査

令和6年度 学校給食・食生活に関するアンケート調査結果

1. 調査実施期間

令和6年12月 5日から20日までのいずれか1日間

2. 調査対象

小学校5, 6年

学校名	恵庭	島松	柏	和光	松恵	若草	恵み野	恵み野 旭	合計
人数	185	106	98	179	27	185	94	166	1040

中学校1, 2年

学校名	恵庭	恵北	恵明	柏陽	恵み野	合計
人数(名)	228	102	353	154	179	1016

3. 調査方法

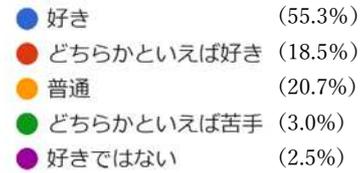
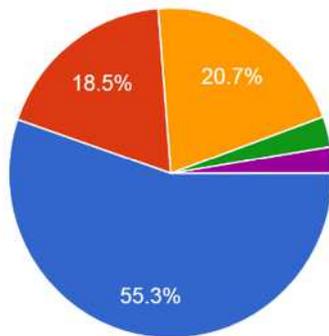
Chrome book を活用した Googleforms による調査

4. 調査内容及び結果・考察

・給食は好きですか。

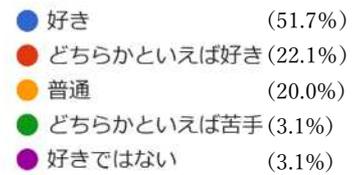
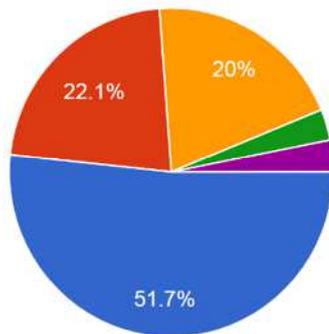
1,040 件の回答

小学校



1,016 件の回答

中学校

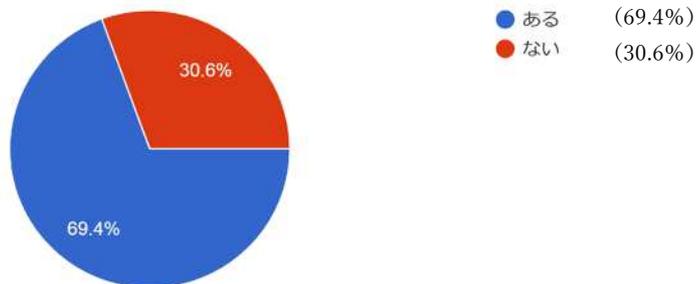


小・中ともに「好き」「どちらかといえば好き」と答えている児童・生徒が多く小・中学生ともに73.8%という結果であった。給食に対して、好意的な印象を持っている児童・生徒が多いことがわかった。また「どちらかといえば苦手」「好きではない」と答えている児童は5.5%、生徒は6.2%と低い数値ではあるが、給食を苦手としている児童・生徒もいることがわかった。

• 給食は残すことはありますか。

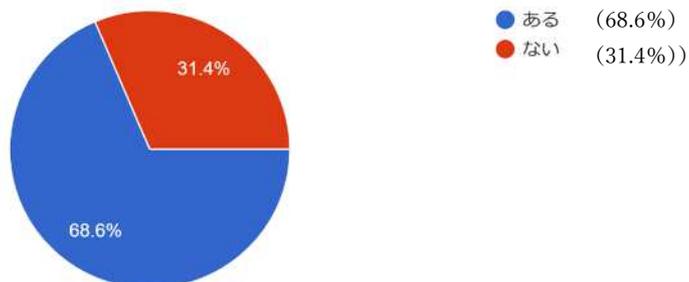
1,040 件の回答

小学校



1,016 件の回答

中学校



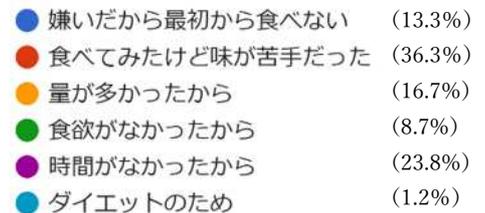
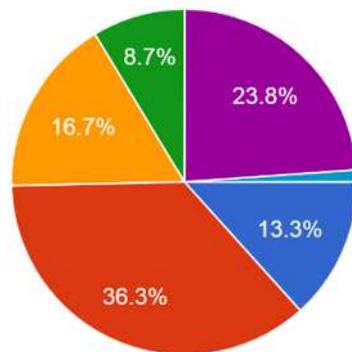
給食を残すことが「ある」と回答した児童は 69.4%、生徒は 68.6%と同じくらいの値であった。

その背景にはいろいろな要因が考えられるが、その日の気候や自身の体調、気分、時間的な要因があると考えられる。

・給食を残すことが「ある」と答えたひとは、その理由を教えてください。

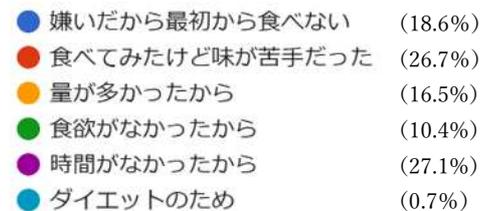
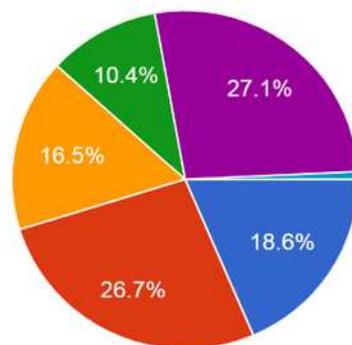
713 件の回答

小学校



690 件の回答

中学校

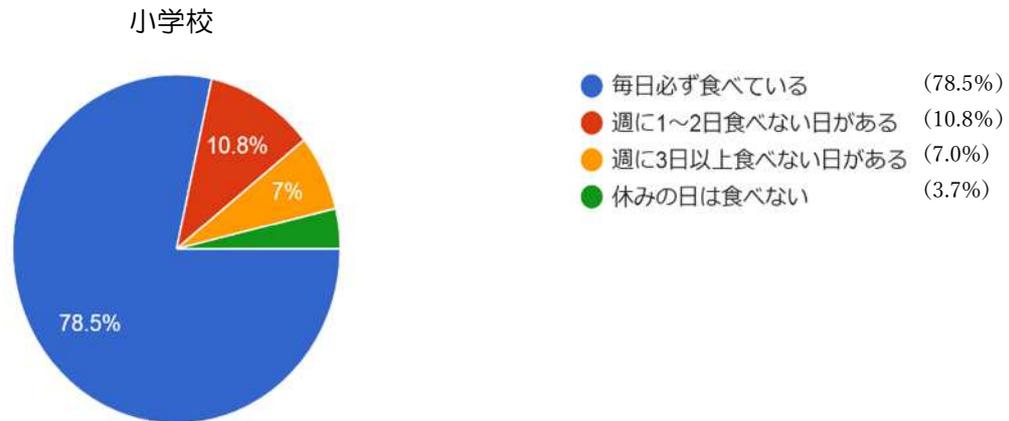


給食を残すことがある理由では、小学生では「食べてみたけど味が苦手だった」と回答した児童が 36.3%と一番多かった。小学生は、まだ味覚も発達途中で、これから成長し食べられるようになることもあるため、味覚の幅が広がることを踏まえ苦手なものでも一口は食べるように指導していきたい。また、中学生では「時間がなかったから」と回答した生徒が 27.1%と一番多い結果であった。小学校でも2番目に多い結果であった。給食時間は、限られた時間の中で、準備、喫食、後片付けを行わなくてはならない。喫食時間を確保することを目標に配膳などの指導を行っているが限界を感じることもあり、給食時間そのものの時間の設定を検討する必要性を感じている。「嫌いだから最初から食べない」と回答した児童が 13.3%、生徒が 18.6%いたが、給食では苦手な食べ物や料理が出た場合にも、一口は食べるようにとの指導を行っているところではあるが、もっと定着させていく必要があるのではないかとと思われる。ただし、強制することはできない。「量が多かったから」と回答した児童は 16.7%、生徒は 16.5%であった。食べられる量に多少の個人差は考えられるが、給食では、その年齢に応じ

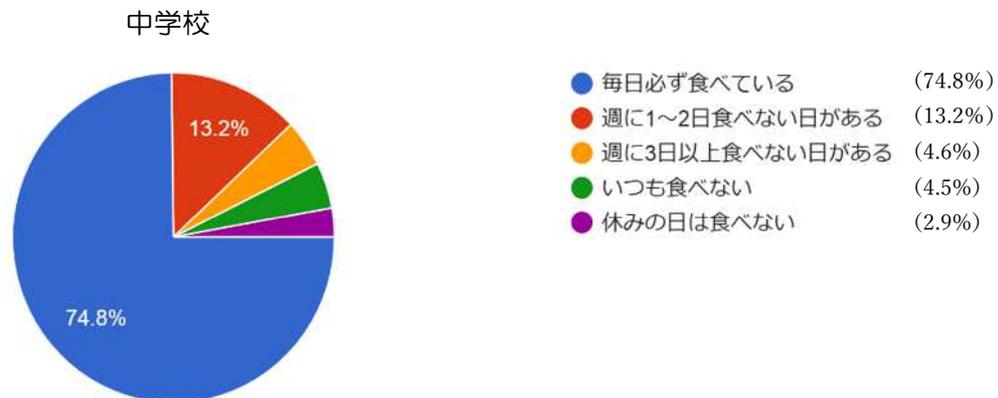
た必要量を知ることにも目的のひとつにしている。体のことを考えた食べ方や必要量を知ることなど、今後も食に関する指導の中で継続していきたいと考える。「食欲がなかったから」と回答した児童は8.7%、生徒は10.4%であった。その日の体調も関係していることが予想される。また気になる点として、中学生のみならず小学生においてもダイエットを意識した食べ方をしている状況も見えるため、成長期にある児童・生徒が食事制限をすることの危険性を今後も発信していきたいところである。

・朝ご飯を食べていますか。

1,040 件の回答



1,016 件の回答



「毎日必ず食べている」と回答した児童は78.5%、生徒は74.8%であった。これは全国学力・学習状況調査の結果と比べても低い傾向にある。

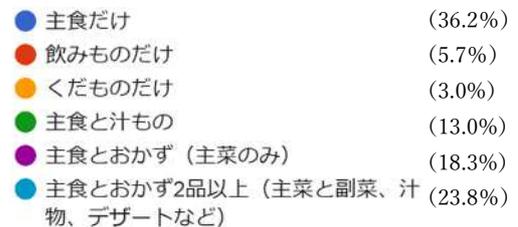
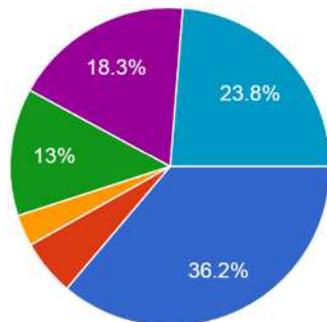
(全国学力・学習状況調査：小学校83.4%、中学校79.1%)

また、週のうち食べない日があると回答した児童・生徒も一定数いることから、毎日食べることが習慣化されていないことが伺え、気になる点である。生活リズムを整える点でも、朝食の大切さについては、食に関する指導の中でも触れてきているが、家庭の協力が必要不可欠であるため、家庭への啓発が重要と考える。

・今日の朝ごはんには、何を食べてきましたか。

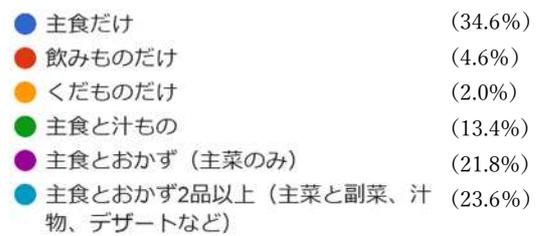
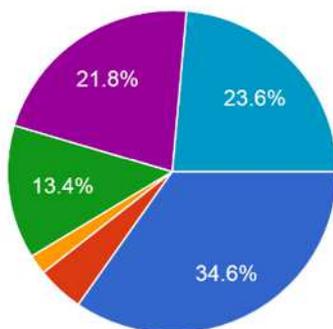
1,040 件の回答

小学校



970 件の回答

中学校

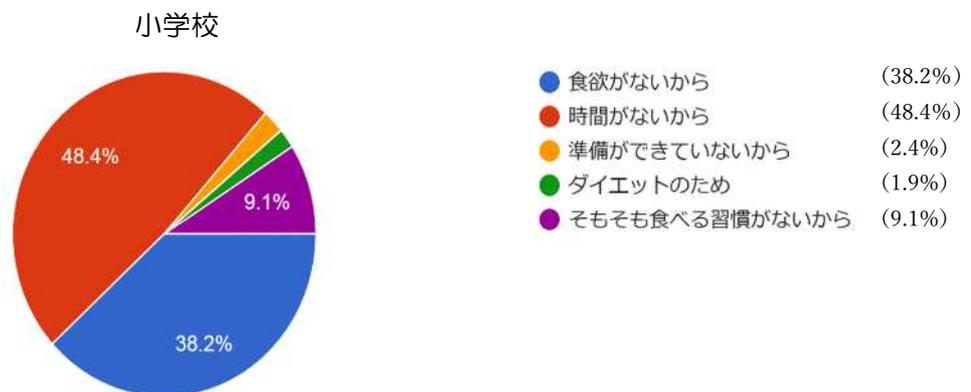


「主食だけ」と回答した児童は 36.2%、生徒は 34.6%であった。次いで多かった回答が児童生徒ともに「主食とおかず2品以上」で、児童で 23.8%、生徒で 23.6%であった。

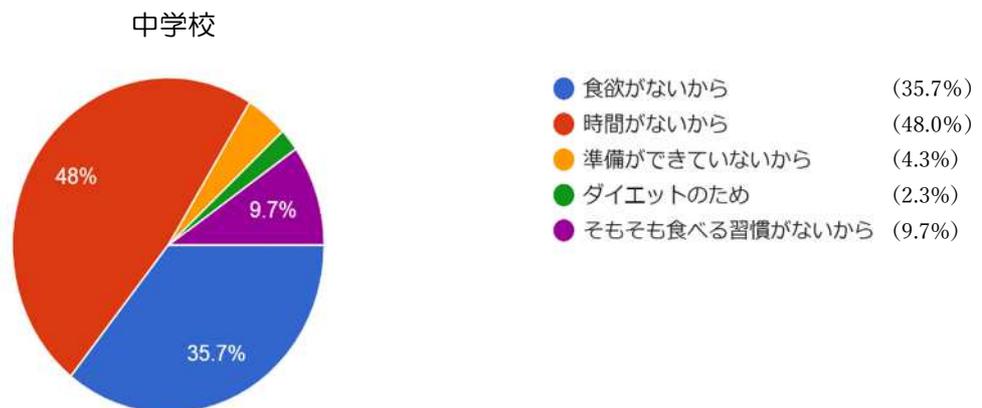
小学5年生を対象とした食に関する指導では、「朝ごはんの大切さを知ろう」をテーマに朝ごはんの大切さや理想の朝ごはんについて考える指導を実施している。朝ごはんの内容についても、児童自ら考えることにより、実生活にも結び付けていけるような指導を今後も大切にしていきたい。中学3年生を対象とした食に関する指導においても、「受験期の食事の大切さ」をテーマに、朝ごはんについても触れているところであり、生徒自ら考え実践していけるように引き続き指導を行っていきたい。

・朝ごはんを食べないことがあるひとは、その理由を教えてください。

254 件の回答



277 件の回答



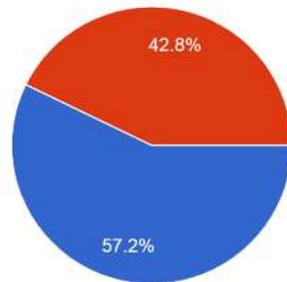
食べない理由として小・中ともに「時間がないから」という回答が最も多く児童で 48.4%、生徒で 48.0%であった。起床時間が遅くなり時間がないことが推測されるが、背後に就寝時間との関連性もあることが懸念される。また、次いで多かった「食欲がないから」と回答した児童は 38.2%、生徒は 35.7%であった。夕食を食べる時刻が遅いことや、寝るまでの間に間食や夜食をとっていることも推測される。次に「準備ができていない」「そもそも食べる習慣がない」という回答も児童・生徒ともに決して少ない値とはなっておらず、家庭への食の啓発もあわせて実施する必要性を感じた。

また、「ダイエットのため」と回答した児童は 1.9%、生徒は 2.3%であった。給食を残すことがあるとの理由の中でも、ダイエットのためと回答した児童・生徒が一定数いたことから、成長期における食事制限が将来の健康に与える影響についても発信していく必要性を強く感じた。

・夜は22時までに寝ていますか。

1,040 件の回答

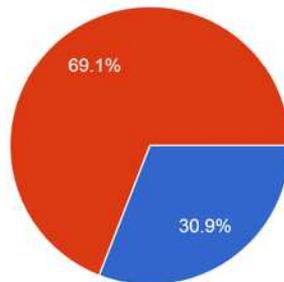
小学校



● はい (57.2%)
● いいえ (42.8%)

1,016 件の回答

中学校

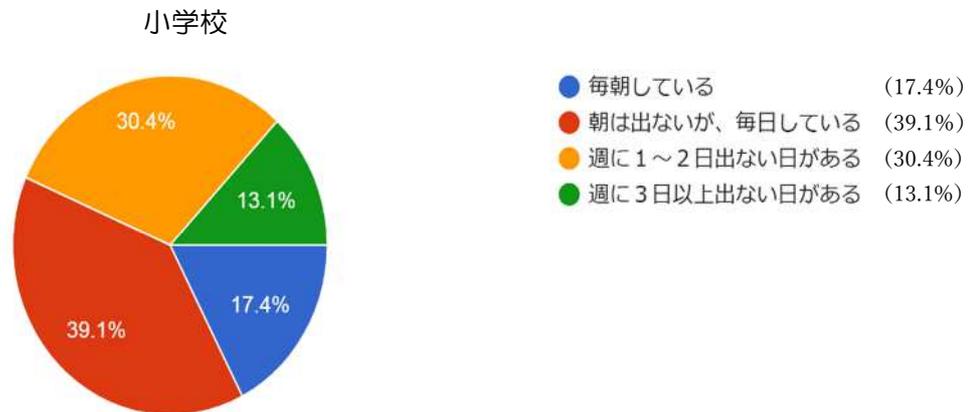


● はい (30.9%)
● いいえ (69.1%)

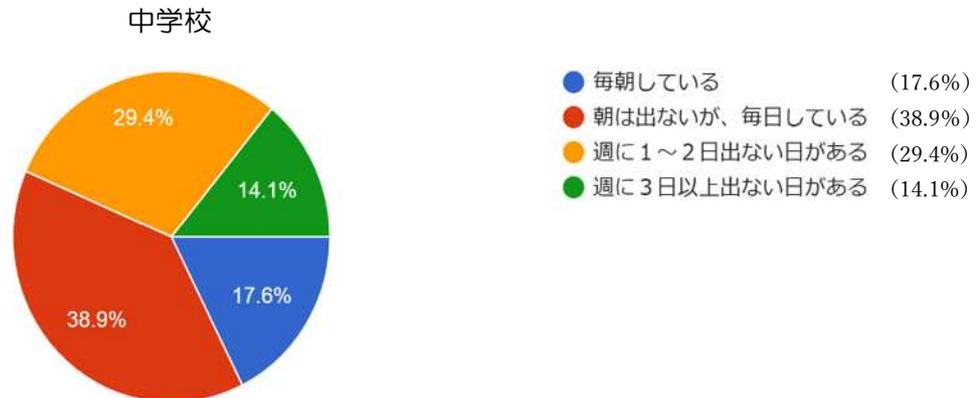
夜22時までに寝ている児童は57.2%、生徒は30.9%であった。小・中学生に必要な睡眠時間を考えると22時までに就寝することが必要であるが、朝ご飯を食べない理由に「時間がないから」と回答していたことの関連性も考えられることから、生活リズムの重要性などを含め総合的な生活バランスの指導が必要であると考えられる。

・朝、排便はありますか。

1,040 件の回答



1,016 件の回答

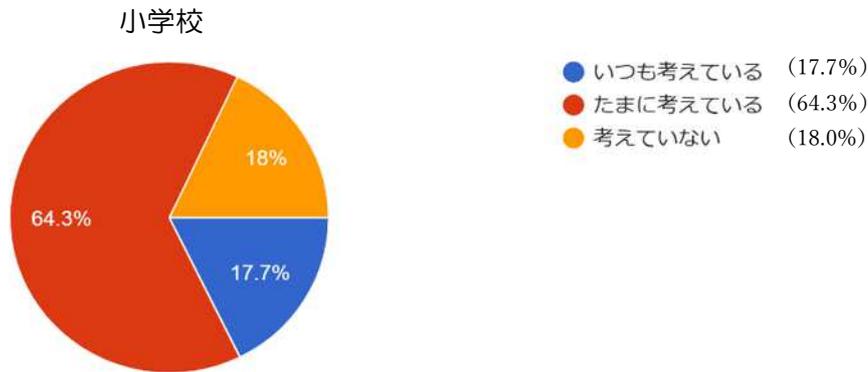


「毎朝している」と回答した児童は 17.4%、生徒が 17.6%であった。「朝は出ないが毎日している」と回答した児童 39.1%、生徒で 38.9%という結果であった。

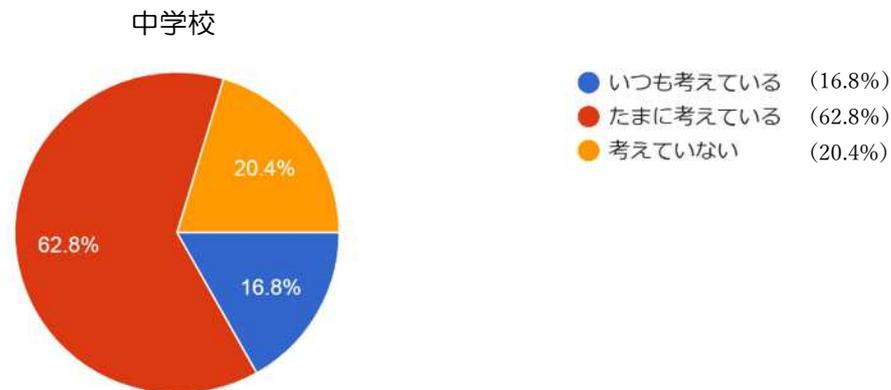
一方で「週に3日以上でない日がある」と回答した児童が 13.1%、生徒で 14.1%いたことが気がりである。排便習慣は、すぐに改善できることではないため、子どものうちから習慣づけられるようにしておきたいものである。朝の時間に余裕がないことも原因のひとつになっているのではないかと考える。

・自分のからだや健康のことを考えて食事をしていますか。

1,040 件の回答



1,016 件の回答



「いつも考えている」と回答した児童が 17.7%、生徒は 16.8%であった。また「たまに考えている」児童が 64.3%、生徒は 62.8%であった。食育の授業を通じて体のことを考えた食べ方の重要性について指導しているため、何かしら意識した食べ方が定着しつつあるものの、その一方で「考えていない」と回答する児童 18.0%、生徒 20.4%であったため、割合を減らしていけるよう、今後も継続した指導を行っていききたい。

最後に・・・

今回の調査において、恵庭市内の小中学生の学校給食・食生活に関する意識や実態などを知ることができ、課題となっている点、そしてこれからの食に関する指導や給食の献立作成において参考となる点など、課題解決のための取り組みに向けて目指すところが明らかとなった。また、家庭との連携については、保護者向けお便りの発行などの啓発を実施してきているが、今後もその取り組みを継続し、他機関とも協力しながら、意識改革をしていけるような働きかけをして

いく必要があると考える。